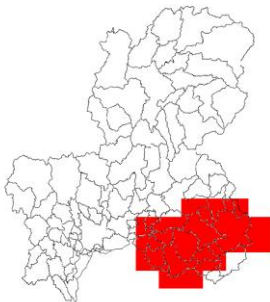


ミカワマツムシソウ	<i>Scabiosa japonica</i> Miq. var. <i>breviligula</i> Suyama et K.Ueda	絶滅危惧 I 類
		マツムシソウ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が急速に減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	茎の高さは40-80cm。大部分の葉は羽裂して、中部と下部の葉では裂片が更に羽裂するが、羽裂しない鋸歯縁の葉もある。頭状花序に淡青色の小花を多数つけ、舌状花はないか、頭状花序周辺に舌状部が短い舌状花を少数がある。萼刺の長さは1-2mmである。雄蕊は4本。	
生態的特徴	1年草(越年草)。花期は8月-10月。	
分布状況	日本に固有で、中部地方南部に分布する。岐阜県では県南東部の標高700m以下に生育する。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊と、山草愛好家による採取。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘